

「第25回全国女性消防団員活性化青森大会」の開催

地域防災室

令和元年9月19日（木）、青森市のマエダアリーナ（新青森県総合運動公園青い森アリーナ）において、「第25回全国女性消防団員活性化青森大会」を開催しました。この青森大会は、「女性消防団員新時代へ“わ”ど“な”の出会い」（青森の方言で「わ」は「わたし」、「な」は「あなた」を表します）というテーマのもと、全国的女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果を紹介するとともに、意見交換を通じて連携を深めることを通じて、女性消防団員の活動をより一層活性化することを目的に、全国から2,600名を超える関係者が集いました。

1. 開会式

開会式では、林崎消防庁長官、秋本日本消防協会会長、大湊大会実行委員長がそれぞれ、主催者挨拶を行いました。また、開催地を代表して三村青森県知事、小野寺青森市長から御挨拶をいただきました。



主催者挨拶をする林崎消防庁長官

2. 活動事例発表

開会式に引き続き、下記の4消防団が災害の体験を基に、避難所運営や被災者支援などで実践している取組や訓練内容等の活動事例の発表を行いました。

活動事例の発表団体及びタイトル	
恵那市消防団(岐阜県)	子どもは自分の命を守れない！わが子を守る備えをしましょう。「子連れ防災教室」
阿見町消防団(茨城県)	備えている？非常時持ち出し品☆☆☆
一関市消防団(岩手県)	『生きる』～ 一関市消防団なのはな隊の使命～
五戸町消防団(青森県)	「助けられる人」から「助ける人」に

近年、様々な自然災害が相次ぎ、被害も甚大化している中、地域の安心・安全を守るため、消防団として、また、女性消防団員として、どのように行動していけばよいかなどの点について、事例発表を通して共有が図られました。



活動事例発表

3. 防火防災啓発劇

防火防災啓発劇では、下記の3消防団から、ユニークな表現や方言を交えた寸劇を通じて、身近なものを活用した応急手当の方法や火災の原因となるものなどの紹介がなされました。

防火防災啓発劇の発表団体及びタイトル	
阿久根市消防団(鹿児島県)	んだもしたん「あら、まあ大変」
福山市消防団(広島県)	ローズちゃんの火事のもと見つけた
豊橋市消防団(愛知県)	いざという時のために！！～身近なモノでできる災害への備え～

この啓発劇を通じ、全国共通の課題である、消防団の認知度向上（PR活動）や士気高揚に向けた取組の必要性等について共有が図られました。



防火防災啓発劇

4. 記念講演

青森山田高校サッカー部監督の黒田剛氏を講師としてお招きし、フリーアナウンサーの境香織氏とのトーク形式により講演いただきました。「自ら変わろうとする強い思いが、人生を変える！勝ち続ける組織を作る！」を演題として、逆境を乗り越え、全国高校選手権大会で同校を2回優勝に導いた経験を活かし、指導者、教育者、組織人としての所感と教訓を語っていただきました。女性消防団員をはじめとする参加者にとって参考となる貴重な講話でした。



青森山田高校サッカー部黒田監督による記念講演

5. シンポジウム

「女性パワーと地域防災」をテーマに、各パネリストが、災害体験の中で実行した具体的な活動やそのなかで考えたこと、さらに今後改善が必要と思ったことなどを語り、会場参加者を含めた意見交換を行いました。各地で頻発し、多様化・大規模化する災害に備え、地域の消防防災体制をより一層充実させるためにはどうすればよいか、今後の地域防災活動に活かすべき女性パワーのあり方等について議論が深められました。

コーディネーター	
日本消防協会会長	秋本 敏文
パネリスト	
おいらせ町消防団(青森県)	熊野 恵子
阿見町消防団(茨城県)	山本 みゆき
倉敷市消防団(岡山県)	村井 佐恵
久留米市消防団(福岡県)	服部 昌子
消防庁国民保護・防災部長	小宮 大一郎

※順不同、敬称略



シンポジウム

6. 【女性消防団活動PR展示コーナー】

なお、会場内に設置された女性消防団活動PR展示コーナーにおいて、女性消防団員が活躍する現場や交流の状況等が広く紹介されました。今回は、全国から27団体（消防庁含む）のPR展示が行われ、多くの見学者で賑わいました。



PR展示コーナー

7. 閉会式等

大会の締めくくりに当たり、「であう、つながる、はじまる」連携の輪を全国で共有し、全国の女性消防団員が一致協力して、新たな決意のもと、消防団活動の一層の活性化、地域防災力の充実強化にまい進する、との大会宣言案が満場一致で採択され、盛況のうちに閉会しました。

来年度は、徳島市で開催する予定です。

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部地域防災室 有田
TEL: 03-5253-7561